

世界のデング熱流行状況(更新 2)

2012年2月6日 ProMED 情報

(1)タイ(2月3日)[The Nation]

昨年の洪水により蚊の繁殖周期が妨害され、1月の患者数は昨年同期に比べ3分の1に減少しました。1月に全国の公立病院に報告されたデング出血熱患者数は1,056名で、昨年同期と比べ36.2%の減少です。死亡患者数は1名でした。

[ProMED 調整者]

タイ保健省によれば、1月30日現在、バンコクの患者数は130名で、死亡患者数は1名です。昨年1月の全国での患者数は2,902名、死亡患者数は3名で、このうちバンコクでの患者数は694名で、死亡患者数は1名でした。

(2)エルサルバドル(全国)(2月1日)

1月22~28日(第4週)に報告された患者数は344名で、20名が重症です。ネッタイシマカの幼虫指数 larvae index は9.8%で、100軒あたり約10軒で蚊が繁殖しています。

(3)エクアドル(全国)(2月3日)

これまで太平洋岸地域では患者の報告はありませんが、海拔1,500mまでの山岳地域では報告されています。ボリーバル Bolivar 県では、41名の患者が報告され、そのうちコトパクス Cotopaxi が11名です。サント・ドミンゴ・デ・ロス・ツァチラス Santo Domingo de los Tsachilas では3名の重症出血熱が報告されています。

(4)ブラジル

全国(2月1日)では、患者数は昨年と比較して60%の減少です。昨年1月の患者数は40,000名で今年は16,000名です。サンパウロ州ポンタール、リベイランプレト(2月4日)では、ポンタール保健事務局は、40,000名の市民がデング熱の発生に直面していることを確認しました。2月3日現在、患者59名が確定診断され、他に疑い患者87名が発生しています。人口600,000名のリベイランプレトでは、2名の輸入例を含む5名が報告されています。またそのうち31歳男性の1名はデング出血熱の疑いで死亡しました。昨年は患者19,200名が報告されました。リオデジャネイロ州リオデジャネイロ(2月2日)では、最初の2名の患者がデング熱ウイルス4型と確認されましたが、市民がこの型に免疫がないため同州では流行の危険性が増大しています。最新の報告によると、デング熱ウイルス4型の患者6名は北部と西部で発生しました。リオデジャネイロ州(1月31日)保健事務局によると、同州では患者2,711名が発生したとのこと。リオデジャネイロ市の患者1,234名は含まれていません。マトグロソ州クイアバ(1月31日)、1月第2週現在、患者60名が報告され、そのうち4名は確定診断されました。ミナスジェライス州ディビノポリス(1月29日)では、デング熱流行の可能性が宣言されました。同市でのネッタイシマカインデックスは3.4%です。北部と北東部は4%(WHOによれば感染拡大がおこらないのは1%以内)です。疑い患者18名が報告されてから、これらの地域では対策が必要です。